

<全体分析>

試験時間 75 分

解答形式

空欄補充, 選択, 記述, 論述, 計算

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

私立大学の入試問題としては, 論述量が多い。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I]	空欄補充 選択 記述 論述	呼吸 光合成	生物	問2 脱水素酵素の補酵素である NADH, FADH ₂ , NADPH についての細かな知識が要求された。 問3(4) 化学式でなく化学組成式であることに注意する。 問4(3) C ₄ 植物のもつ C ₄ 回路については教科書で参考扱いであり, 特にホスホエノールピルビン酸について正確に論述するのは難しかっただろう。	標準
[II]	選択 論述	神経 動物の行動	生物	問3(1) 雄フェロモンが「雄」の求愛行動に及ぼすはたらきについて尋ねていることに注意する。 問3(5) 「P2 神経のはたらきを阻害した交尾雌は雄に対して誘引行動を示す」ことから考える。	標準
[III]	選択 記述 論述 計算	進化 生殖 遺伝	生物	問3(2) 相同染色体ごとに父由来か母由来の染色体のどちらかを受け継ぐので, それぞれの相同染色体ごとに2通りの遺伝子構成をもつ可能性がある。 問4 三毛猫の遺伝などについての知識があれば「茶色と黒色のまだらの毛色」と答えられただろう。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

遺伝子, 生殖と発生, 代謝, 生物の環境応答などが頻出分野であるが, 全分野について基本知識や基本的な計算に習熟しておこう。やや細かな用語を尋ねる設問が出題されるので, 教科書に記載されている用語は注意して覚えるようにしておこう。書きにくい論述設問が比較的多いので, 論述の練習は手を抜かないようにしておこう。バイオテクノロジーの手法など, 新しい研究についての出題がみられるので, 実験の手法や目的など, なるべく具体的に学習しておこう。